

## 「『未知への挑戦』とくしま行動計画」（令和3年度版）の見直し案にかかるパブリックコメント回答

令和3年2月4日（木）から令和3年2月18日（木）までの間、オープンとくしま・パブリックコメントを実施したところ、10名の方から20件のご意見をいただきました。ご意見の概要と県の考え方は、次のとおりです。

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
1	<p>ふだんJRを利用しています。公共交通機関の利用促進を図るためにも、徳島駅以外にも消毒用アルコールを設置し、感染症対策をさらに進めれるよう支援してはいかがでしょうか。</p>	<p>公共交通機関の利用促進について、令和2年度は、6月、9月、1月と3度の補正予算を組み、バス、タクシー、鉄道、フェリー、航空などの事業者を対象に、各業界が作成するガイドラインに基づく感染防止対策等の推進や、新たな需要創出等を図る取組みなどに対して支援を行ってきたところです。</p> <p>JR四国では、鉄軌道事業のガイドラインで求められている主要駅への消毒液の設置のほか、消毒液の管理が可能な有人駅に「アルコール消毒」を設置するとともに、駅や列車内の消毒を定期的に行うなど、感染防止対策を実施していると同っています。</p>
2	<p>オンラインを活用した取り組みが多く見られますが、研修などはオンラインだと臨場感にかけ、周りの状況によっては集中できない可能性もあると思います。参加したり対話があるような形で実施する工夫をお願いします。</p>	<p>本県では、県民ニーズに対応した学習機会の充実に向け、県の各部局をはじめ、県内高等教育機関や民間団体等、様々な機関と連携を図りながら、専門的知識や技能等を修得するための各種講座を実施するなど、幅広い分野での人材育成を推進しています。</p> <p>より多くの方々の参加が見込まれるオンラインを活用した講座や研修等につきましては、今後も講座内容・手法の工夫や充実を図ることにより、県民の皆様の利便性の向上を図って参ります。いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
3	<p>家庭で学べる防災の展開について、新型コロナへの対応でもあり、是非進めて欲しい取り組みですので県南部だけでなく、県全体で進めるべきではないでしょうか。</p>	<p>県では、県立防災センターにおいて、これまでも「県防災メモリアルデー」特別啓発行事や、県職員が地域や学校、事業所等に出向いて実施する「防災出前講座」等を実施してきたところです。</p> <p>更に、コロナ禍にあっても、県民の皆様が安心してご家庭でも学んでいただけるよう、インターネットを活用したパネル展や、オンライン受講による防災講座の開催等、新しい生活様式に対応した手法を取り入れた啓発活動を展開して参ります。</p>
4	<p>ホテルや旅館を活用した分散避難とありますが、災害がおきた時、ホテルに避難した場合の宿泊費への支援などはあるのでしょうか？</p>	<p>県では、避難対策を担う市町村と連携し、特に、要配慮者の方々の事前避難を促進するため、「ホテル・旅館」の宿泊費の一部を助成する取組を実施します。</p>
5	<p>車中泊を分散避難につなげるとのことですが、今後車中泊を進めていくとなると車で安全なところへ避難し過ごすこととなります。津波のような大きな災害の時には、ガソリンを手に入れることも難しくなると思いますし、津波の時には徒歩で避難と聞いたことがあります。今後避難する場合はどうなるのでしょうか。</p>	<p>ご意見のとおり、地震津波の際の車避難は、危険性が伴うことから徒歩による避難を原則としています。</p> <p>一方、台風などあらかじめ安全なうちに避難することができる場合は、3密を回避する「分散避難」として、「車避難（車中泊）」は有効な選択肢となります。日頃から、ご自宅や地域のハザードマップを確認するなど、事前に取りるべき避難行動をご検討くださいますようお願いいたします。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
6	新型コロナウイルス感染症の影響が広がる中、ワクチン接種の円滑な実施に期待しています。国・市町村・医療機関などと十分に連携し、取り組んでください。	<p>新型コロナウイルス感染症の収束に大きな期待を寄せられているワクチン接種については、国民・県民の皆様には「早期」に、「安心」して接種いただける体制の構築が急務であると認識しております。</p> <p>そのため、本県においては、ワクチンの円滑な接種に向け、「県・新型コロナウイルス・ワクチン接種調整会議」や、本調整会議のもとに設置した「実務者会議」において、今後のスケジュールの共有や、ワクチン接種の準備における課題や対応策の協議・調整を行っております。また、郡市・医師会単位でのきめ細やかな協議を実施し、ワクチン供給時に速やかな接種を可能とするための、詰めの協議を加速させているところです。</p> <p>また、ワクチン接種については、最終的には個人の判断で接種されるものであり、県民の皆様のご理解が何よりも重要であることから、ワクチン接種の意義や副反応をはじめとした情報について、より分かりやすく、速やかに情報発信し、安心して接種して頂ける体制づくりを進めて参ります。</p> <p>引き続き、市町村や県医師会などと連携し、「オール徳島体制」で総力を挙げ、新型コロナ収束への切り札となるワクチンの円滑な接種を実現して参ります。</p>
7	4月に開校となるしらさぎ中学校での取組に期待しています。県内中学校・高校との連携や他県の学校との連携を取り入れるなどの、特色ある取組を進めてください。	<p>全国初の県立夜間中学「徳島県立しらさぎ中学校」では、「学び直し」や「新たな学び」を希望する方々のニーズに応える取組を進め、徳島の伝統や文化を体験できるプログラムや、日本語指導を充実させたベーシックコースの創設など「徳島ならではの学び」を提供して参ります。また、併設している徳島中央高校をはじめ、校章作成などを依頼した名西高校、近隣の小・中学校や高校とも、様々な教育活動を通して交流を図り連携して参ります。</p>
8	小中高生にタブレット端末が1人1台配布されると聞きますが、授業や学校での利活用にとどめず、自宅などの学校外で生徒自身が自由な発想でタブレットを活用した学習や活動ができるように取組を進めてください。	<p>県教育委員会では、今年度、タブレットや教育クラウドなどのEdTechを活用したモデル校事業において、端末の持ち帰り学習やオンライン学習などの活用実践に取り組んでおり、その取組状況なども踏まえ、平時、有事及び学校、家庭を問わず1人1台端末を積極的に活用するため、「徳島県GIGAスクール構想」として策定したところであり、今後は、この構想に基づいて、取組を推進して参ります。</p>
9	新型コロナの影響で、海外からの観光誘客は非常に厳しいと思うが、国内の観光誘客を主眼に取り組みつつ、コロナ収束後の速やかなインバウンド誘客に繋がる施策にも取り組んでほしい。	<p>新型コロナの影響により、インバウンド需要の回復が困難な中、国内観光の需要喚起に向け、県民限定の宿泊割引「とくしま応援割」や、国の「GoToトラベル事業」とタイアップした「徳島で得するケン（券）」等の国内向けの誘客促進施策を展開しています。また、アフターコロナを見据え、ニューノーマルに対応する形で、県内受入環境の充実やオンラインを活用した効果的なプロモーションに取り組んで参ります。</p>
10	国の2050年カーボンニュートラル宣言など、地球温暖化対策は引き続き重要だと思えます。県では、これまで以上に県民が一人一人が参加でき、成果を実感できる施策に取り組んでください。	<p>本県では、国に先駆け、「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を掲げた「気候変動対策推進計画（緩和編）」を昨年3月に策定し、重点施策の一つである「エシカルな県民生活に係る対策」に基づき、ライフスタイルの転換促進や県民や各種団体、事業者が環境の保全及び創造に主体的に取り組む環境活動の支援など、県民総活躍による「脱炭素社会の実現」を目指しています。</p> <p>今後とも、各分野毎に設定した成果指標の進捗管理を徹底し、県民総ぐるみでの地球温暖化対策に取り組んで参ります。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
11	DMVの導入が遅れているが、しっかり安全性を優先して進めてほしい。導入後に不備がないようにしてほしい。	<p>DMVの導入は、本年夏の運行開始を目指し、鋭意、取組みを進めています。安全性の確認については、本年1月20日から2月5日まで、「車両の安全性」や「減速性能」などの確認を行った「車両の性能試験」に加え、引き続き「線路への進入をはじめとする信号制御」など、車両を安全に運行させるために必要な「DMV運転保安システム」の性能試験を実施することとしております。</p> <p>「本格営業運行」開始に向けては、最終的に国の「DMV技術評価検討会」で安全性を確認いただくことが必要であることから、引き続き、関係者の皆様と連携し、この度の「性能試験」全工程を確実にクリアできるよう、しっかりと取り組んで参ります。</p>
12	コロナで外食が減り、野菜や魚など県内の食材が売れていない。生産者の保護を考えてほしい。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による外食需要の減少により、「ハウスすだち」、「阿波尾鶏」、「ハモ」など高価格帯の品目を中心に消費が低迷する中、本県では、全国初となる「融資連動型給付金事業」を創設し、生産者の資金繰りを支援しているほか、来期に向けた生産経費の支援や、ECサイトやリモートツールを活用した需要喚起と新たな販路開拓に取り組んできたところです。</p> <p>引き続き、WITHコロナからアフターコロナを見据えて、生産者の皆様が経営を継続できるよう、しっかりと支援して参ります。</p>
13	徳島ヴォルティスがJ1になったが、県民みんなで応援する雰囲気づくりに力を入れてほしい	<p>県では、徳島ヴォルティスを通じて、スポーツの楽しさ・素晴らしさを多くの県民に知っていただくとともに応援機運の醸成を図るため、各ホームタウンと連携した小中高生招待事業の実施や県民デーを開催しているところです。</p> <p>県民念願のJ1復帰を果たした徳島ヴォルティスの更なる応援機運を醸成するため、新たに鳴門駅からスタジアムまでの「ヴォルティスロード」における、ニューノーマルに対応した「マルシェ」や「デジタル・スタンプラリー」の開催、オンラインによる選手と小学生の交流会などのイベントを実施することとしています。また、交通事業者と連携し、多くの来場者の利便性向上を図るため、スタジアムへの交通アクセスの充実に取り組むとともに、情報発信による来場促進を図り、国内最高峰リーグのJ1定着に向けて、県民が一丸となって応援する機運の醸成に取り組んで参ります。</p>
14	過去最大の予算規模とのことだが、生活していてあまり実感がない。税金を無駄遣いせず、子供の世代のためにもお金を残してほしい。	<p>本県では、平成20年度から3年毎に、財政運営の基本的な方向性を示す「財政構造改革基本方針」を策定し、公債費や県債残高の適正管理はもとより、政策提言等を通じた財源確保や徹底した事務事業の見直しなど、歳入・歳出両面での財政構造改革に努めてきたところです。</p> <p>令和4年度までを改革期間とする現行の「基本方針」においても、新型コロナ対策などの緊急的な財政需要や将来の県債償還（借入金の返済）に備えた、県の貯金に当たる「財政調整的基金」について、令和4年度末まで「800億円以上」の残高を堅持する目標を掲げ、着実な取組みを進めております。</p> <p>令和3年度当初予算では、国の経済対策に呼应した令和2年度2月補正予算、また、緊急事態宣言再発令に伴い緊急編成した令和2年度1月補正予算を一体とした「15か月予算」として編成し、新型コロナウイルス感染症への対応として、医療提供体制の充実強化や民間事業者の皆様の事業継続支援等の経済雇用対策、さらには、全国で激甚化・頻発化している自然災害に備えた県土強靱化対策などに重点的な予算措置を行う一方で、国庫補助金や後年度の元利償還に対する交付税措置の手厚い地方債など有利な財源活用に努め、実質的な県負担を抑制しながら、必要な事業費を確保致しました。</p> <p>今後とも、いただきましたご意見にありますように、将来世代に過度な負担をかけることがないように、「財政構造改革基本方針」に基づき、「持続可能な財政運営」に努めて参ります。</p>

番号	ご意見・ご提言等	ご意見に対する考え方
15	鳥インフルが発生して安全な食に気がつかっている。そうした情報をしっかり出してほしい。あと、何万もの殺処分があったと聞きました。養鶏の人たちの生活を守ってあげてほしい。	<p>本県で発生した鳥インフルエンザの際には、迅速な防疫措置を講じ対応してきたほか、消費者の皆様が不安や心配を抱えないように、鶏肉や鶏卵の安全性について、国はじめ県のホームページなどで情報提供して参りました。</p> <p>また、鳥インフルエンザに伴う殺処分や移動・搬出制限を受けた生産者に対しては、家畜伝染病予防法に基づき、国及び県から手当金を交付するなど支援することとしており、生産者の速やかな経営再開を後押しして参ります。</p> <p>引き続き、本県養鶏業の振興と安全安心な食の提供について、しっかりと取り組んで参ります。</p>
16	県のホームページを見ると動画がたくさん作られている。全然知らなかった。もっと色々発信してほしい。もったいないと思います。	<p>県政に関する情報を、正しく、分かりやすくお伝えすることが重要であると考えており、職員自らが各部局の事業やイベント等を分かりやすく伝える映像を制作し、「県のホームページ」、YouTube「徳島県チャンネル」等のインターネット動画サイトやCATVを活用して、広く視聴できるようにしております。</p> <p>また、その情報についてはSNS等の広報媒体を通じて発信しています。</p> <p>今後とも、適宜分かりやすい動画を制作し、SNSをはじめとする様々な広報媒体を活用し、必要な情報が必要とされる方へ届くよう、積極的に情報発信を行って参ります。</p>
17	関空へ再び高速船を走らせる計画があると聞きました。昔、明石海峡大橋ができて廃止になったのに失敗するのではと思います。	<p>今後、「2025大阪・関西万博」などの開催を控え、国内外からの本県への交流人口拡大が見込まれております。</p> <p>この絶好のチャンスを活かし、様々なニーズに応じた関西からの「多様な交通手段」を確保し、本県への誘客促進や交流人口の拡大を図ることが重要であると考えております。</p> <p>これらを踏まえ、令和2年10月に平成12年以来、20年ぶりとなる「本県と関西国際空港を結ぶ航路」において「実証運航」を実施したところです。</p> <p>今後、実証運航で頂いた御意見を踏まえ、更に「魅力的な運航計画」となるよう磨き上げ、「アフターコロナ時代」を見据えた国内外からの「誘客促進」や更なる「交流人口拡大」に向け、本県と関西を結ぶ「新たな海上交通」の導入に取り組んで参ります。</p>
18	オンライン授業が可能な環境を整えば、台風が来た時の休校や災害が起きた時の授業再開などに非常に役に立つと思うので、より一層取り組みを進めてください。	オンライン教育により平時・有事及び学校・家庭を問わない学びの連続性を確保するためにも、今年度策定した徳島県GIGAスクール構想に基づき、必要な通信環境確保策や支援策を講じるなどの取組を推進して参ります。
19	新型コロナの影響で農業、畜産、水産といった生産者も大変苦労されていると思います。ブランド化を進めるとともに、販路開拓を支援するなどの取り組みをお願いします。	<p>本県では、新型コロナウイルス感染症に伴う市場ニーズの変化や行動変容に的確に対応するため、県産食材のブランディングの強化をはじめ、ECサイトやリモートツールを活用した販売チャネルの拡充や、巣ごもり需要が高まる海外に向けてのオンライン商談会の開催など、県産品の国内外への販売促進に取り組んでいるところです。</p> <p>引き続き、WITHコロナからアフターコロナを見据えて、生産者の経営継続を支援するとともに、新たなビジネスチャンスへの取組をしっかりと後押しして参ります。</p>
20	ヴォルティスがJ1に昇格するので、この機会に県外から来られる方々への徳島県の魅力発信を頑張って欲しいと思います。コロナの影響もあるので難しいと思いますが、観光やグルメとセットにしたイベントなんかも企画して欲しいです。	<p>徳島ヴォルティスのJ1復帰にあわせ、ヴォルティス・オフィシャルサイトとリンクした「特設観光サイト」の開設や、スタジアムにおける「観光・物産ブース」の設置など、年間を通じた徳島の魅力発信に加え、アウェイサポーターの皆様を観戦を機に、県内各地に足を運んで頂くための宿泊割引やクーポン券の提供などの取組を進めて参ります。今後とも、国内最高峰リーグのJ1で活躍する徳島ヴォルティスの情報発信力や集客力を観光誘客に繋げる施策に取り組んで参ります。</p>